

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会及び東京ほくと医療生活協同組合倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先 1】もしくは【問い合わせ先 2】までお申し出ください。

【研究課題名】	訪問診療における Minnesota Complexity Assessment Method (MCAM) を用いて測定した患者複雑性と各種評価項目（死亡・緊急入院・臨時往診）の関連及び MCAM の妥当性・信頼性：前向きコホート研究の二次分析																																					
1. 研究の目的と方法	本研究は、①訪問診療における Minnesota Complexity Assessment Method (MCAM)（身体・心理・社会的問題を評価するツール）を用いて測定した患者複雑性（身体・心理・社会的問題）と死亡・緊急入院・臨時往診の関連を明らかにすること、②MCAM というツールが尺度として妥当で信頼できるものであるかを検証することを目的としています。なお、本研究は、先行研究「課題名：多施設共同・在宅高齢者コホート構築と在宅死に関する研究 (EMPOWER-Japan study)」で得られたデータを用いて実施します。																																					
2. 研究期間	倫理委員会承認日から 2028 年 03 月 31 日まで、研究の実施を予定しています。																																					
3. 対象となる方等	<p>下記研究機関で、2013 年 02 月 01 日から 2017 年 01 月 31 日までに、先行研究「課題名：多施設共同・在宅高齢者コホート構築と在宅死に関する研究 (EMPOWER-Japan study)」に関する調査を受けた方。</p> <table border="0" data-bbox="411 1173 1134 1742"> <tr> <td>(1) あさお診療所</td> <td>所長</td> <td>清田実穂</td> </tr> <tr> <td>(2) 赤羽東診療所</td> <td colspan="2">2019 年 3 月 31 日閉院</td> </tr> <tr> <td>(3) 荒川生協診療所</td> <td>所長</td> <td>田邊康一</td> </tr> <tr> <td>(4) 大井協同診療所</td> <td>医師</td> <td>増山由紀子</td> </tr> <tr> <td>(5) 上井草診療所</td> <td>医師</td> <td>長尾智子</td> </tr> <tr> <td>(6) 北足立生協診療所</td> <td>所長</td> <td>渡邊隆将</td> </tr> <tr> <td>(7) 久地診療所</td> <td>所長</td> <td>喜瀬守人</td> </tr> <tr> <td>(8) 汐入診療所</td> <td>所長</td> <td>佐藤寿和</td> </tr> <tr> <td>(9) 生協浮間診療所</td> <td>所長</td> <td>鍋島悠子</td> </tr> <tr> <td>(10) 橋場診療所</td> <td>所長</td> <td>稲田美紀</td> </tr> <tr> <td>(11) 根津診療所</td> <td>所長</td> <td>村上敦子</td> </tr> <tr> <td>(12) 王子生協病院</td> <td>副院長</td> <td>平山陽子</td> </tr> </table>		(1) あさお診療所	所長	清田実穂	(2) 赤羽東診療所	2019 年 3 月 31 日閉院		(3) 荒川生協診療所	所長	田邊康一	(4) 大井協同診療所	医師	増山由紀子	(5) 上井草診療所	医師	長尾智子	(6) 北足立生協診療所	所長	渡邊隆将	(7) 久地診療所	所長	喜瀬守人	(8) 汐入診療所	所長	佐藤寿和	(9) 生協浮間診療所	所長	鍋島悠子	(10) 橋場診療所	所長	稲田美紀	(11) 根津診療所	所長	村上敦子	(12) 王子生協病院	副院長	平山陽子
(1) あさお診療所	所長	清田実穂																																				
(2) 赤羽東診療所	2019 年 3 月 31 日閉院																																					
(3) 荒川生協診療所	所長	田邊康一																																				
(4) 大井協同診療所	医師	増山由紀子																																				
(5) 上井草診療所	医師	長尾智子																																				
(6) 北足立生協診療所	所長	渡邊隆将																																				
(7) 久地診療所	所長	喜瀬守人																																				
(8) 汐入診療所	所長	佐藤寿和																																				
(9) 生協浮間診療所	所長	鍋島悠子																																				
(10) 橋場診療所	所長	稲田美紀																																				
(11) 根津診療所	所長	村上敦子																																				
(12) 王子生協病院	副院長	平山陽子																																				
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しないため、該当しません。																																				
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。																																				
	(3) 情報の種類	<p>(ア) 患者に関する情報</p> <p>性別、年齢、基礎・併存疾患、内服薬剤の数、介護保険導入の有無及び介護度、日常生活動作 (ADL)、抑うつ状態、認知機能、患者複雑性、本人の在宅死の希望の有無、担癌状態の有無、栄養状態、血清アルブミン</p>																																				

		(イ) 家族（介護者）に関する情報 家族構成、主介護者の属性、家族の在宅死の容認の有無 (ウ) 環境に関する情報 医療サービス受療状況、介護サービス利用状況、生活保護受給の有無	
	(4) 情報の取得の方法	先行研究「課題名：多施設共同・在宅高齢者コホート構築と在宅死に関する研究（EMPOWER-Japan study）」で得られたデータを用いて実施します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(2)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 総合医科学研究センター 臨床疫学研究部
		氏名	杉山佳史
	(2) 試料・情報の 管理責任 者	(1)の研究責任者と同じ	
(3) 共同で研究 を実施する 機関とその 責任者	東京ほくと医療生活協同組合 北足立生協診療所 所長 渡邊隆将（機関の長：渡邊隆将） 広島大学病院 総合内科・総合診療科 助教 吉田秀平（機関の長：越智光夫）		
6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて	本研究では、先行研究「課題名：多施設共同・在宅高齢者コホート構築と在宅死に関する研究（EMPOWER-Japan study）」において、既に東京慈恵会医科大学総合医科学研究センター臨床疫学研究部に提供された情報を用いて実施します。この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。		
【問い合わせ先 1】	機関名：東京慈恵会医科大学 総合医科学研究センター 臨床疫学研究部 研究責任者：杉山佳史 電話番号：03-3433-1111（内線 2390） 対応時間：平日 09：00 ～ 17：30		
【問い合わせ先 2】	機関名：広島大学病院 研究責任者：吉田秀平 電話番号：082-257-1597 対応時間：平日 08：30 ～ 17：00		

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。また、本研究の結果を公表する際（例えば、学術雑誌への投稿などの際）に、科学的に正当な理由で本研究に係る情報の開示を求められた場合は、研究対象者にプライバシー上の不利益が生じないように、適切に特定の個人を識別できないように加工（研究 ID 等を削除）し、すなわち個人情報でないことを確認した上で、開示請求に応じる場合があります。